

境野黃洋 きょうのうやう 佛教學者、文藝博士。明治四年八月十一日陸前國生
れ、昭和八年十一月十一日歿（一八七二—一九三三）。本名哲。筆名曰佛教子ぶつこうし
子。初の哲海と稱し道宗大谷派の僧侶と、うち同派を退きニ無宗派とな
る。哲學館卒。明治二二—二三年佛教清徒同志會、公參劃、雜誌『新佛敎』
編輯に從事。東洋大學教授、同會長、駒澤大學教授兼任。

著書書、寺田福壽遺稿『阿彌陀經通俗講義』（内題「佛說阿彌陀經通
俗講義」本名、筆記、明治二十七年六月十七日哲學書院）、男『佛學生

氣質（附錄學生消夏法）』（公著・新八論社・高島大圓編、明治二十九

年二月二十九日鶴聲堂書店別堂）、『印度佛教史綱』（本名、第四版・大

正二年九月五日森江本店）、『佛敎の新研究』（同、合著・上宮教會

一河瀬秀治編、大正七年十一月二十四日大阪堂書店）、『アメリカ

日本の女へ』（大正十一年五月一日寶學館）、『法華物語』（大正十

五年六月十一日森江書店）、『國譯人藏經の讀み方』（昭和二年五月

二十五日國民文庫刊行會）等。

